レの困りごと対応例

当日の検討会では髙橋

立ち「当検討会が発足し

行われた。最終とりまと てさまざまな調査研究が 委員長が冒頭あいさつに

由者・車椅子使用者の場

の工夫をはじめ上下前後

洗面台や蛇口の形状

策定し、浸水被害の軽減 浸水対策ガイドラインを

に取り組む地方公共団体



例を整理した。上肢に障

国土交通省は十二月十 東京・霞が関の同省

回「共生社会におけるト 調査研究検討会」(委員 利用時の困りごとと対応 誉教授)を開き、トイレ 長· 髙橋儀平東洋大学名

_{検討会}洗面台·蛇

イレの環境整備に関する | の工夫などを求めてい

|総合政策局会議室で第二 | 害がある場合の改善策と | 設置管理者の責務として 一る。来年二月以降に報告 書をまとめる考えだ。 して洗面台や蛇口の形状 今年五月にバリアフリ 法が改正され、国・地

に追加された。来年四月 の適正利用の推進が新た 高齢者・障害者用トイレ の本格施行を控え、同検 正利用のあり方について 討会では多様な利用者に

多様な利用者のトイレ整備で議論

を呼びかけた。

と述べ、活発な意見交換

知、洗面台まわりの設備

やごみ箱などの位置の配

いボタン・使い方の周 流しの設置、わかりやす に位置が変えられる汚物

のご協力をお願いする」 めに向けて皆さまの一層

とについては高齢者、障

れの採用などを指摘。乳

慮、センサー式の汚物入

トイレ利用時の困りご

害者、乳幼児連れなどに

グループインタビューを

アマップや案内図でトイ 幼児連れについてはフロ

どを明示する。

XX XX

画策定ガイドラインなど

七月豪雨、令和元年東日

同省は雨水管理総合計 | きた。しかし平成三十年

効果的なハ

優先的に取り組む区域を設定し、効率的・効果的なハード整備を推進していく。

の流出量は増大し、下水

学系研究科附属水環境工学研究センター教授)を開催した。気候変動の影響を見据えた事前防災 を計画的に進めるため、雨水管理総合計画策定ガイドラインなどを抜本的に見直す。雨水対策に

る内水浸水対策に関するガイドライン類改訂検討委員会」(委員長・古米弘明東京大学大学院工

国土交通省は十二月七日、東京・新宿区水道町の日本下水道新技術機構で第一回「下水道によ

浸水対策ガイドライン改訂

ト水道による七つの都市



古米委員長





国交省検討委が下水道機構で初会合

や「下水道政策研究委員 策に関する検討会」提言 動を踏まえた都市浸水対 このため同省は「気候変 へ従来のガイドライン類一さつした。 を反映した計画見直しや 踏まえ、気候変動の影響 会制度小委員会」報告を 内水浸水想定区域図の作

ド整備を推進 透面積減少によって雨水 都市化の進展に伴う浸 一どの内水氾濫が発生する で大雨が頻発し、雨水な る。また気候変動の影響 道への負担も強まってい リスクが高まっている。

と述べ、積極的な協力を 要請した。また委員長に ないご意見を賜りたい」 選出された古米教授が 気候変動を的確に把握

ラインにしたい」とあい ら、わかりやすいガイド 現場の意見を反映しなが 策を進める必要がある。 し、より実効性のある施

を促進していく。 などによる流出抑制対策 グリーンインフラの活用 共有の枠組みを構築し、 地域の実情に応じて関係 者間の協議・調整・情報

発 行 所

(株)日本設備工業新聞社 東京都渋谷区桜丘町10-13 〒150-0031 野元第1ピル 電 話 (03) 3496-4774代 FAX (03) 3464-1884 info@setubikougyo.co.jp 年極8,800円(税·送料込)

あしたを、 ちがう 「まいにち」に。 TOTO

理官が冒頭あいさつに立 を全面的に見直すことに 検討委の初会合では白

害が発生しており、浸水 重視し、内水浸水リスク にあたっては事前防災を

提言が出されてきた。本 ている。皆さまの忌憚の んでいくことを目的とし 検討会はこれらを具体的 なアクションに落とし込 対策に向けてさまざまな 施設の有効活用に関する 的・効果的な施設整備の る。雨水対策を優先的に 総合計画の策定を推進す 取り組み事例のさらなる 示する。これに伴い既存 評価を踏まえた雨水管理 イメージやメニューを提 行う区域を設定し、効率

ら企業、地域住民、河川 管理者、防災部局、都市 者との連携を強化する。 計画部局など多様な関係 充実をめざす。 また流域治水の観点か

管友ネッ

い水を提 安心・



Kamamoto 川本 テラル

水

	■.
-	-

		,			
沖山産機㈱	墨田区墨田4-61-13 〒131-0031	株 角 産	練馬区平和台3-26-15 〒1	79-0083 (株) 慶 旺	渋谷区幡ヶ谷2-27-7 〒151-0072
	⁹ TEL(03)5247-7131 FAX(03)5247-7133		TEL(03)3931-0701 FAX(03)39	331-0702 (MA) / 1985 PE	TEL(03)3370-6251 FAX(03)3375-3910
// 柏営業所	柏市十余二348 〒277-0872	_ // ==	練馬区西大泉6-10 -2 〒1	78-0065 野村機器(株)	小平市小川町1-341-2 〒187-0032
	TEL(04)7132-6361 FAX(04)7132-9270		TEL(03)5387-5611 FAX(03)53	387-5610 = 37 (27)	TEL(042)342-2211 FAX(042)344-2211
// 小岩営業所	√ 江戸川区本一色2-18-7 〒133-0044			21-0064 サンコー機材㈱	昭島市田中町1-36-12 〒196-0014
	TEL(03)3654-8111 FAX(03)3651-1245		TEL(03)5831-0801 FAX(03)58	331-0800	TEL(042)543-8811 FAX(042)546-5116
//// // // // // // // // // // // // /	/ 八丈島八丈町三根398 〒100-1511	//葛飾営業所		24-0022 //昭島支店	昭島市田中町1-36-12 〒196-0014
	TEL(04996)2-1402 FAX(04996)2-2102		TEL(03)5671-0391 FAX(03)56	871-0394 "" 馬文店	TEL(042)541-3652 FAX(042)546-3536
(株) 岡 本	_ 新宿区新宿1-11-15 〒160-0022		杉並区荻窪3-47-15 〒1	67-0051 //西多摩支店	羽村市羽加美1-7-1 〒205-0016
	<u>" TEL(03)3356-4871 FAX(03)3356-4374</u>		TEL(03)3393-2211 FAX(03)33	391-4227 "四岁厚文店	TEL(042)554-1151 FAX(042)554-7516
倉 地 ㈱	墨田区本所1-33-9 〒130-0004	//東松山営業所	東松山市六反町15-12 〒3	// ‡\//	あきる野市瀬戸岡425-8〒197-0803
	Y TEL(03)3624-4441 FAX(03)3622-6894		TEL(0493)23-2921 FAX(0493)23-9216 // 秋川文冶	TEL(042)559-5241 FAX(042)559-5205
	_ 松戸市大橋白幡1108-3 〒270-2224	(株) ノ ム ラ	杉並区荻窪3-47-17 〒1	67 - 0051 // 八王子支店	八王子市椚田町223-1 〒193-0942
	TEL(047)391-5711 FAX(047)391-5777		TEL(03)3391-2211 FAX(03)33	392-5616 / // 八工丁文店	TEL(042)668-2261 FAX(042)668-2271